

シンポジウム

3.11-2年9カ月後の女たち

震災から2年半が経過しましたが、被災地では、雇用・生活再建・女性への暴力・復興格差など、いまだに困難が続いています。また、自治体の男女共同参画担当部署の被災状況が明らかになる、活動資金の補助が無くなるなど、新たな課題も明らかになってきました。

防災・減災の提言と取り組みを発信し、被災地のすべての女性たちの復興と、女性視点での防災の取り組みを実現するために、私たちに何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

メイン報告：宗片恵美子「女性視点での防災の取り組みと課題」
やはたえつこ「被災地におけるDV防止の取り組みの現状と課題」

パネリスト（順不同）

須藤明美（宮城登米えがおねっと代表 だいま休会中）

伊藤利花（自治労宮城県本部副中央執行委員長）

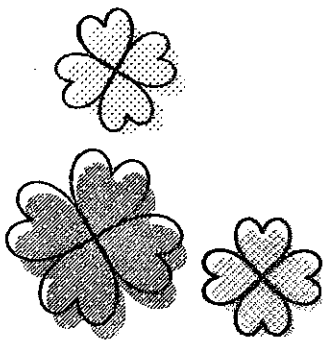
内田有美（性と人権ネットワークESTO正会員）

佐藤理絵（河北新報社教育プロジェクト事務局長）

やはたえつこ（NPO法人ハーティ仙台代表理事）

宗片恵美子（NPO法人イコールネット仙台代表理事）

コーディネーター 浅野富美枝（宮城学院女子大学教員）



日時

2013年12月8日（日）
13:30~16:00

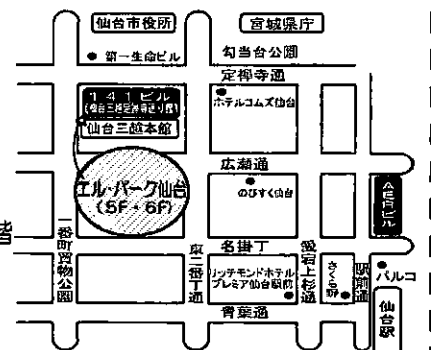
参加費

500円（定員120名）

会場

エル・パーク仙台
セミナーホール

仙台市青葉区一番町4-11-1
141ビル（仙台三越定禅寺通り館）5階
TEL.022-268-8300
<http://www.sendai-1.jp/whats/>



申込み
問合せ先

E-mail: womenmoving311@gmail.com

※メールを使用されない方は TEL・FAX 03-5261-5931

（生活思想社 五十嵐）までご連絡ください。

主催：みやぎの女性支援を記録する会

後援：河北新報社

* この事業は（公財）せんだい男女共同参画財団の支援を受けて実施します。